

保護者アンケートの結果のお知らせ

平成31年1月11日

平和こども園

園長 藤谷 昌宏

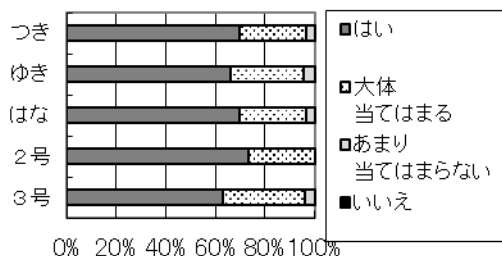
保護者の皆様には、日ごろよりこども園の教育・保育活動にご理解・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。さて、12月に行いました「保護者アンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

アンケート回収率／ りす・こあら・うさぎ(3号): 98.6%、 ひつじ・ぱんだ・きりん(2号): 85.2%、 はな(1号): 96.7%、 ゆき(1号): 97.4%、 つき(1号): 95.7%

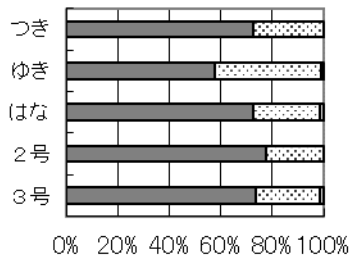
※参考 H29年度の回収率 3号87.5%、2号87.8%、はな99.2%、ゆき96.6%、つき97.9%
H28年度の回収率 3号97.5%、2号83.6%、はな96.6%、ゆき94.3%、つき96.4%

子どもは

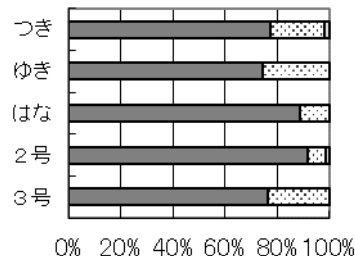
1 子どもさんはこども園に行くのを楽しみにしていますか



2 子どもさんはこども園で好きな遊びを楽しんでいるようですか

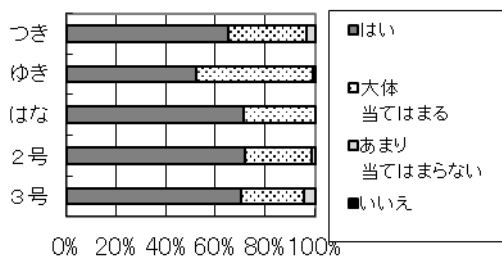


3 子どもさんはクラスの担任を頼りに(信頼)していますか

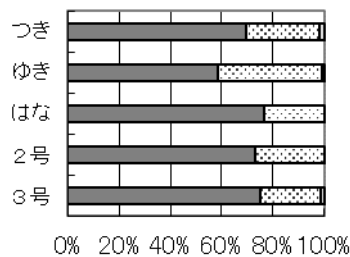


教職員は

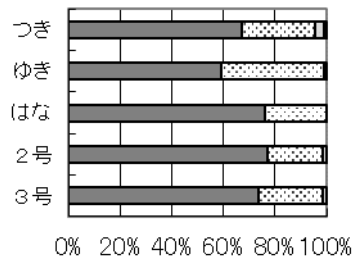
1 保育者は子どもさんのこども園での生活をよく見えていますか



2 保育者は子どもさんの健康や安全面について気をつけていますか

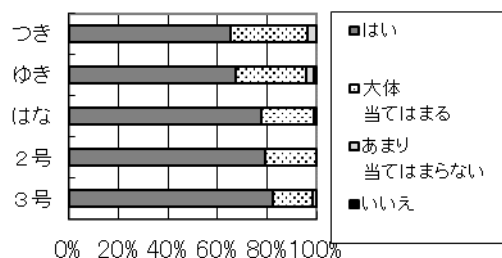


3 保育者は子どもさんのことで保護者と連携を取っていますか

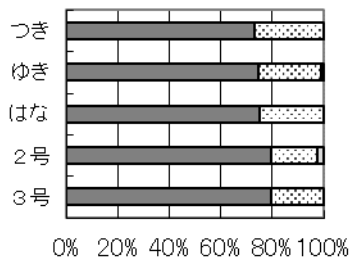


こども園は

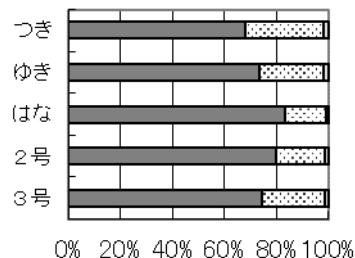
1 こども園は行事の内容や取り組み方法を工夫していますか



2 こども園は基本的な生活習慣や学習の基礎基本を身に付けさせていますか



3 こども園の雰囲気がよく、教職員が生き生きしていますか



左のグラフで、全45項目（質問項目9×5集団）において、「はい」と「大体当てはまる」の合計が95%以上になりました（平29は40項目、平28は37項目が該当）。また、「いいえ」が1%以上ある項目はありませんでした（平29は1項目、平28は2項目ありました）。項目数から見ると、評価は平和こども園が開園して3年の間に向上したことになります。

いただいたご意見の中にも、多数のありがたい言葉がありました。

「今年は、新しく変わることや行事毎におたよりで沢山連絡をいただいたので不満もなく、子どもと一緒に楽しく過ごせました。前の音楽会のオープニングで起きたトラブルなども、おたよりの注意書きのおかげでトラブルなくできました。保護者へのおたよりで今までより細かく沢山連絡することは先生方の仕事を増やすことになってしまいますが、とても分かりやすくなりました！<つき組>」

「今年、姉の子どもが浜松市の某幼稚園へ入園しました。他の幼稚園のことを色々聞かされ、平和こども園の先生方の質の良さ、行事・設備等々全然違うことに驚かされました。特に先生方の質の良さはズバ抜けて素晴らしいと思います。これからもこの色々な良さを継続・向上して行ってほしいと思います。自慢のこども園です。<つき組>」

「保育園部にも歴史のある幼稚園教育を受けられることが魅力だと思い入園を希望しましたが、夏休み等は保育園部でもお店屋さんごっこ準備等のお楽しみがあり、子どもも楽しそうに通えています。また、朝～夜まで長時間の園生活で体力面が心配でしたが、本人の様子でお昼寝をさせていただいた事もあり、とてもありがたいです。先日、ブログの写真の中で幼稚園のお弁当の中、1人だけ給食の娘の写真があり少しだけ可哀そうな気もしましたが、本人は嬉しそうに写っていましたし、お弁当への憧れはあるようで、朝食や休日にお弁当がいいとリクエストされることもあります。子どもの気持ちに寄り添うチャンスだと考えていますし、栄養ある温かい給食はありがたいです。<ひつじ組>」

保護者お一人お一人には当然それぞれの考え方がありますが、園としては今後も「子どもがすこやかに成長するために」を判断基準に、平和幼稚園の伝統を根幹に据えつつ、『平和こども園としての教育・保育』の充実に努めてまいります。

なお、いただいたご意見の中から、当面の課題として次の3点をとらえました。

①「きめ細かな保育」の徹底

「今の先生はこちらから話に行かないと教えてもらえません。コミュニケーションが上手く取れず寂しく思います。<つき組>」「けががあった時は、担任から報告すべきではないですか？<ゆき組>」「連絡ノートをもっと少し細かい内容を書いていただくと様子がよく分かり安心です。<はな組>」「時々、連絡帳を読んでくれているのかな？と疑問に思うことがありました。<りす組>」などのご指摘は、当園の教育方針の1つである「きめ細かな保育」にかかわる問題です。3学期最初に全職員で再確認いたします。

②幼稚園部と保育園部の連携

「保育園部の写真や日常はよくUPされますが、幼稚園部の写真や様子をイベント時以外にさらっと見られたらいいなと日頃思います。<ゆき組>」「幼稚園部と保育園部の交流の場がたくさんあるとよいと思います。小さい子に触れ合える機会がある所がこども園の特徴だと思うからです。<はな組>」「保育園部・幼稚園部の連絡・連携がどうなっているか不明。幼稚園部からの担任の連絡ノートのやりとりはほぼなし。様子が分からない。<きりん組>」などのご意見をいただきました。

幼稚園部と保育園部とは子どもの人数や在園時間が異なる、それぞれの教育課程や職員の勤務体制が異なり接点を設けにくいなどの課題があり簡単ではないですが、園として少しずつでも連携を深めたいと思います。

③職員一人一人のレベルアップと働き方改革

「先生方に対応・スキルにバラつきがあるので平均的にしてほしい。<うさぎ組>」というご指摘の一方、「子どもは先生方が考えている以上に先生のことが大好きです。経験の少ない先生方、自信をもって頑張ってください。応援してます！<はな組>」との激励もありました。職員の構成上、経験年数や得意不得意の相違は避けられませんが、それに甘えることなく互いに切磋琢磨してレベルアップしなければなりません。

また、中には次のようなご心配をいただきました。

「子どもや保護者にとってはとても良い園だと思います。その反面、先生方の負担が年々多くなっている様子が感じます。先生方の力があってこそその園だと思うので、先生方のフォローや仕事量の減少を考えてあげてほしいです。保護者が楽しすぎな気がします。<つき組>」

「今年度から13時降園の日がなくなりましたが、その分先生方への負担が増えていないか少し心配になりました。先生方の労働環境も「浜松一働きやすい園」ならば、必然的に保育の質も上がってさらに素晴らしい園を目指せると思います。<はな組>」

わが国で進められる働き方改革について、園としても保護者の皆様のご理解・ご協力を得ながら研究していく必要を感じました。

(園長 藤谷昌宏)